

つがる市稲垣町のヤチダモの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県つがる市稲垣町豊川千代島107の18
名木の名称	一本タモ(ヤチダモ) 推定樹齢 不明(一千年)
名木の所有者	つがる市稲垣町豊川千代島107の18
治療年月日	平成22年11月4日 (木)
樹木医による 名木の診断内容	落葉期が早く、葉が小さく葉量も少ない。主幹部の腐朽が激しく開口とその部分をコンクリートで整形していたが、数年前の台風崩れの大風で破壊され見苦しい残骸になっている。分岐した太枝も空洞化し支柱に支えられている。 根元周辺の土壌は砂質が多く、固結している部分は少ないが一部においては踏圧となっている。この地域は、今年の暑さによりお盆過ぎからのアメリカシロヒトリの発生が激しく、特にヤチダモの枝葉、根元周辺は踏圧されて固結されて根系の伸長に障害となっている。
実施した治療内容	主幹部の腐朽部殺菌をした後不定根の誘導を図るために、空洞部分に土・パーク堆肥・活性炭・ルーフソイルを混ぜ合わせた良質土を充填した。充填した土がこぼれ落ちないように金網と吸出防止材で押さえた。 根元周辺部分には高度な有機質を含む改良材と、土壌の有機質分解を促す微生物増殖環境とするため空隙率の高い活性炭により、土壌改良工を図る必要がある。 また、土壌改良したあとに細根の発生を多くするために、発根剤の散布と新根の健全性を促進するため養生剤の散布が必要である。
今後の名木に 対する留意事項	不定根の誘導については、4~5年後に不定根が地床まで到達しているかを確認して、その後の対応を検討する。 枝葉も少ないこと、また西風の非常に強いところであることから、少しの変化も見逃さないよう注意を払う必要がある。



つがる市稲垣町

一本タモ(ヤチダモ)の木です。



一本タモは、腐朽が激しく、開口部分をコンクリートで整形している。



一本タモの内部です。

不定根の誘導を図るために、空洞部分に

良質土を充填している。